

瀬戸北RC

## 河原でアート事業

### 瀬戸川河川敷の美化、整備

【尾東】瀬戸北ロータリークラブ（RC、河村誠悟会長）は10月19日、瀬戸市汗干町地内の瀬戸川河川敷で、社会奉仕事業「河原でアート」を行った。愛知県立瀬戸工科高校工芸デザイン科2、3年生の生徒14人も参加し、河川敷の清掃と遊具のペイントなどを行った。

同事業は、昨年11月に次いで2回目。一部で手入れの行き届いていなかった河川敷を、市民に安心安全に利用してもらえるようにし

ようと、取り組みを始めた。昨年は、瀬戸市立效範小学校6年生の児童、保護者とともに、清掃とコンクリート製遊具の塗装などを行った。

今回は9月ごろから準備に入り、伸びていた雑草を刈ったほか、汚れていた砂場やコンクリート製遊具、ベンチを洗浄。土で埋まっていた遊具の掘り起こしも行った。

当日は、生徒らが水性塗料を使ってベンチや丸椅子に色を塗ったり、星や動物、花のイラストを描いたりして、カラフルに装飾した。

河村会長は「来年は、瀬戸市で国際芸術祭『あいち2025』が行われ、瀬戸を訪れる人が多くなると予想される。観光客はもちろん市民の皆さんにも、きれいで気持ちよいまちだと感じてもらえるお手伝いができれば」と話した。



ベンチに絵を描く生徒